

ニュースになった事件から 知的財産を学ぶ



なぜ、知的財産は重要なのか？

仕事や研究で特許権や著作権などが重要とされているけれど、ピンと来ない人も多いと思います。実際に起こった事件に基づいて、知的財産の何が問題になり、どのような結果になったのか、どうすればトラブル防止できるのかを学びます。

昨年出版された『こうして知財は炎上する - ビジネスに役立つ13の基礎知識』の著者である稲穂健市氏をお迎えして、同書で紹介された知的財産の事件を中心に、楽しく、分かりやすく、お話いただきます。

**参加
無料**

日時：平成31年 **2月15日** **金** 14:00～15:30

場所：信州大学 長野(工学)キャンパス (長野市若里4-17-1)
国際イノベーションセンター 4階会議室

対象者：対象者：信州大学の教職員・学生、企業、一般の方 ほか

プログラム

14:00～14:05 開会の挨拶 和崎 克己 (工学部電子情報システム工学科 教授)

14:05～14:15 「信州大学の知的財産活動の状況および知的財産の取扱いについて」
阿部 紀里子 (学術研究・産学官連携推進機構 知的財産・ベンチャー支援室)

14:15～15:30

「ニュースになった事件から知的財産を学ぶ」

稲穂 健市 氏

東北大学 研究推進・支援機構URAセンター
弁理士・特任准教授



【プロフィール】 東京都生まれ。横浜国立大学大学院修了。大手電気機器メーカーにおいてソフトウェア関連発明の権利化業務、新規事業領域における企画推進・産学連携・国際連携などに従事。2014年より現職。主な著作は、『楽しく学べる「知財」入門』（講談社現代新書・2017）、『こうして知財は炎上する - ビジネスに役立つ13の基礎知識』（NHK出版新書・2018）。

参加申込みは必要ありません。当日会場にお越しください。
ご不明な点等がございましたら、下記までお問い合わせください。